

耐火クロスカバー

IKX

国土交通大臣認定



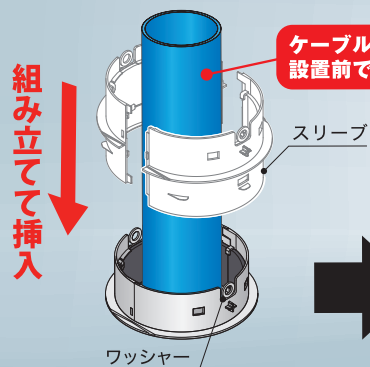
製品詳細は
こちら



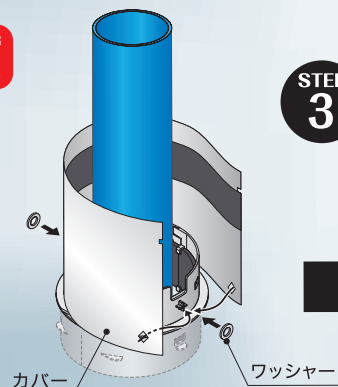
省施工

**モルタル埋め戻し不要!
床上で完結!**

STEP 1 開口穴に
スリーブを挿入



STEP 2 カバーを巻き付け
ワッシャーで留める



STEP 3 固定材を
留め付けて完成

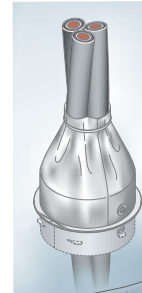


固定材

**固定材を外して
配管更新が可能**

※配管更新後は元通り
留め付けてください。

ケーブルの場合



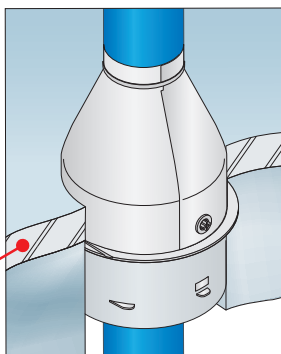
**増し打ち用
ボイド管不要!**

ここが
eco

樹脂スリーブが
ボイドの役割を
兼ねています!

※スパイラルダクト埋めっぱなしの
開口にも対応可能

増し打ち
(最大40mm)



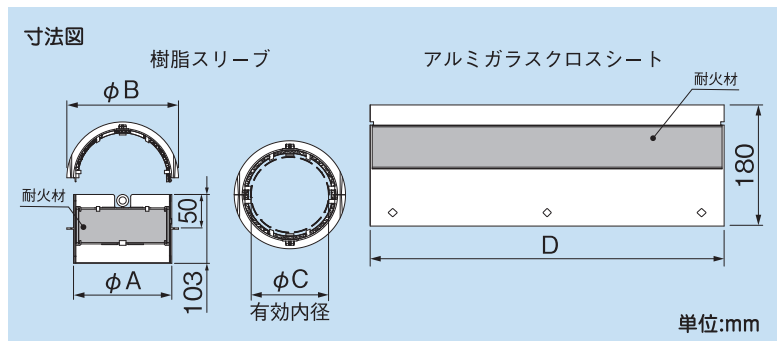
**配管が躯体に触れていないため
振動を大幅に低減できます。**

**施工に
バラツキなし!**

**施工品質
安定**

製品(スリーブ・カバー)に耐火材が組付け
られているため**モルタルの埋め戻し管理が
不要で目視で施工確認が可能です!**
作業によるバラツキがありません。

製品仕様



セット内容

記号	部品名	数量
A	樹脂スリーブ(耐火材付き)	1組
B	アルミガラスクロスシート(耐火材付き)	1枚
C	固定材	1本
—	取扱説明書	1枚
—	国土交通大臣認定品表示シール	1枚
—	ケーブル防災区画貫通部措置工法表示シール	1枚

コード No.	型番	適用貫通穴径	φA	φB	φC (有効内径)	D	標準単価	梱包
63504	IKX-100	φ100~φ106	94	114	72	366	¥3,500	24
63505	IKX-125	φ125~φ132	120	140	98	446	¥4,400	18
63506	IKX-150	φ150~φ157	145	165	123	526	¥5,500	12

適用範囲概要 (詳細は認定書を確認してください)

(単位: mm)

※樹脂スリーブの有効内径を確認のうえ、製品サイズを選定してください。

床構造 (国土交通大臣が認定したもの)			床 (ALC・コンクリート)		
国土交通大臣認定番号			PS060FL-1231		
床 厚さ			100以上		
開口部		形状	円形 (φ157以下、ポリエチレン管の場合 φ132以下) ※1		
占積率		開口面積に対する配管・ケーブルの 断面積の総合計の割合	64.0% 以下 ※1		
製品サイズ			IKX-100 (有効内径: φ72)	IKX-125 (有効内径: φ98)	IKX-150 (有効内径: φ123)
配管種類 ※5	金属管 ※2 ※3	排水用硬質塩化 ビニルライニング鋼管	50A (外径 φ60.5) 以下	80A (外径 φ89.1) 以下	100A (外径 φ114.3) 以下
		鋼管	50A (外径 φ60.5) 以下		
		ステンレス管	60A (外径 φ60.5) 以下		
	硬質ポリ塩化ビニル管 ※2 (VP、VU、HIVP、HT)		50A (外径 φ60.0) 以下	75A (外径 φ89.0) 以下	100A (外径 φ114.0) 以下
	配水用ポリエチレン管 ※4		50A (外径 φ63.0) 以下	65A (外径 φ76.0) 以下	—
	合成樹脂製可とう電線管		外径 φ45.5以下 (PF管) 外径 φ48.0以下 (CD管)		
ケーブル		総導体断面積 2558.4mm ² 以下、 1本当たり導体断面積250mm ² 以下			

※1: 貫通穴径、占積率を考慮して、配管サイズを選定してください。

※2: 被覆材取り付け可能な配管となります。被覆材とは、グラスウール(厚さ25mm以下、密度24kg/m³以上)を指します。

樹脂スリーブの有効内径を確認のうえ、被覆材を取り付ける配管サイズ、および製品サイズを選定してください。

※3: 金属管とは、排水用硬質塩化ビニルライニング鋼管(WSP042)、鋼管(JIS G 3442、JIS G 3452、JIS G 3454、JIS G 3455、JIS G 3456、JIS G 3458、JIS G 3460)、ステンレス管(JIS G 3447、JIS G 3448、JIS G 3459)を指します。

※4: 配水用ポリエチレン管の貫通穴径は、φ132以下になります。

※5: ケーブル以外は、1開口に対して1本です。



Webサイト



Instagram



X



facebook



YouTube



お問い合わせは

<https://www.inaba-denko.com>

因幡電工カンパニー
因幡電機産業株式会社

札幌営業所 (011)209-1784 (代) / 横浜営業所 (045)470-1780 (代) / 九州 1 課 (092)283-1751 (代)
仙台営業所 (022)293-1785 (代) / 名古屋営業所 (052)541-1780 (代) / 九州 2 課 (092)283-1785 (代)
関東営業所 (048)642-1783 (代) / 金沢営業所 (076)262-1783 (代) / 広域 1 課 (06)4391-1713 (代)
首都圏 1 課 (03)5437-7153 (代) / 近畿 1 課 (06)4391-1940 (代) / 広域 2 課 (03)5437-7152 (代)
首都圏 2 課 (03)5437-7154 (代) / 近畿 2 課 (06)4391-1732 (代) / 東京推進課 (03)5437-7151 (代)
首都圏 3 課 (03)5437-7155 (代) / 広島営業所 (082)545-1132 (代) / 大阪推進課 (06)4391-1941 (代)

※本リーフレットからの無断複製・転載・改変はたかくお断りします。

※本リーフレットに記載の内容は、製品改良のために予告なく変更する場合があります。

※本リーフレットに記載の内容は2025年6月現在のものです。

INABA DENKO
営業所一覧はこちら

